

重要文化財

安楽寺多宝小塔が一般公開されます

有田川町二川の安楽寺に伝わる国指定重要文化財の多宝小塔と、それを保管する収蔵庫の修理改修事業が完了し、去る4月15日(日)に落慶法要が行われました。多宝小塔は、平成27年から約2年間の修理を終え、収蔵庫は平成29年に改修を終えた後、内部の環境を安定させるために約1年間の乾燥期間を経て、多宝小塔が安置し直されました。この度、一連の修理改修事業が完了したことを受け、安楽寺関係者の皆さまのご厚意により、多宝小塔をはじめとした文化財の一般公開が行われることになりました。

安楽寺多宝小塔は、高さ2m9cmの小さな塔です。多宝塔とは、写真のような二階建ての塔で、通常は屋外に建ち、高さも10m以上ありますが、安楽寺多宝小塔はこれを忠実に縮小して造られています。屋根を支える複雑に組み合わされた部品や、屋根は軒に向かって緩やかに反るなど優美な姿が見られます。安楽寺多宝小塔が造られたのは、今からおおよそ650年前の南北朝時代と考えられており、多宝小塔としては日本で唯一、単独の建造物として国の重要文化財に指定されているなど大変貴重な文化遺産です。

この他、収蔵庫には多くの仏像が安置されています。

この内、阿弥陀如来坐像は平安時代後期の作で、緊張を解いた姿やなだらかで美しい衣の特徴から都で造られたと考えられており、当時の莊園領主であった京都の寂楽寺によつて造られた可能性があります。観音菩薩立像は、阿弥陀如来坐像と同様の特徴をもつことから、その脇に安置されていた可能性があり、仏像本体のみならず台座も平安時代のものが残されているなど大変貴重なものです。この機会にご見学ください。

重要文化財 安楽寺多宝小塔 一般公開

● 公開日時

7月15日(日)・11月18日(日)

平成31年2月17日(日)

いずれも10時～15時

● 公開場所

安楽寺多宝小塔収蔵庫(有田川町二川423)



安楽寺多宝小塔

広告 町収入の一部とするため有料広告を掲載しています。

自営業・フリーランスのみなさんへ。年金が増えて 税金がおトクで

人生に、2つのゆとり。老後にゆとり 今にゆとり

国民年金基金

加入できる方は？ 20歳以上60歳未満の国民年金の第1号被保険者の方および60歳以上65歳未満の方や海外居住されている方で国民年金に任意加入されている方も加入できます。

※非居住者が支払った掛金は、所得控除対象外です。
※国民年金基金の受給開始年齢は、国民年金の受給開始年齢と連動して変わるものではありません。

資料請求・ご相談・お問い合わせはお気軽に
今すぐこちらへ！

0120-65-4192 和歌山県国民年金基金
www.wakayama-kikin.or.jp 〒640-8137 和歌山市吹上2丁目1番22号 日赤会館6階 TEL.073-433-6100